

製品名: GATA3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80850**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	GATA3
別名	HDR;MGC2346;MGC5199;MGC5445;GATA3
遺伝子 ID	2625.0
SwissProt ID	P23771
免疫原	大腸菌で発現したヒト GATA3 の精製された組み換え断片。

背景

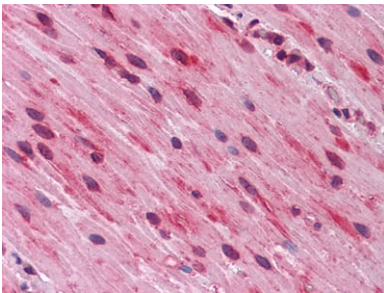
この遺伝子は、GATA ファミリーの転写因子に属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は 2 つの GATA 型ジンクフィンガーを含み、T 細胞発達の重要な調節因子であり、内皮細胞生物学で重要な役割を果たしています。この遺伝子の欠陥は、感音性難

聴および腎異形成を伴う副甲状腺機能低下症の原因となります。(RefSeq 提供) 組織特異性: T細胞および内皮細胞 RD: GATA-3 は、GATAファミリーの転写因子に属し、コンセンサス DNA 配列(A/T) GATA(A/G)に結合して、遺伝子発現および形態形成の多様な組織特異的プログラムを制御します。これは、中胚葉および内胚葉由来の組織で広く発現しています。GATA-3は、免疫細胞機能、交感神経発達、および上皮細胞における分化状態の維持に必須の調節因子であることが示されている。

研究分野

-

画像データ



抗GATA3マウスmAbを用いたパラフィン包埋ヒト小腸筋層組織の免疫組織化学分析